

解労働同盟ノ代表者ノ書状ヲ朗讀シテ朝鮮
人労働者提携ヲ云々シテ充分研究ト実状ノ
調査ヲ望ムト述べ更ニ西尾(中央委員)ハ
朝鮮労働大會準備會趙錫範ヨリ自
分ニ寄セタル書状ニ依テ朝鮮労働者若
シテ階級的意識ニ目醒メ来リ具体的ノ利
アリヲ作ラントスル者ノ為メ朝鮮人ノ大會ヲ開
クニシテ総同盟ニ參觀セラント中央委員會提
議セルニ會期ハ二月下旬ニシテ大會ノ目的明瞭
ナラス此莫ク照會シタルカ之レハ途中没収セシ
タルカ或ハ趙錫範カ入獄セル者トシテ便リナシト
大會ニ對スル処置ニ干シ中央委員會ニ一任方ク
希望シ別託會大會宣言ヲ朗讀シ議

長ハ次大會ノ時期及場所ニ就テ語り時
期ハ大正十四年四月上旬トシ場所ハ関西同
盟會ノ理事會ニ一任ト決ス次テ役員選
挙ニ移リ十名ノ詮衡委員(氏名後報)ニ
附託(関西五、關東三、鑛山二)ニ午後二時四
十分休憩、今三時再會、詮衡委員會
報告、総同盟會長 鈴木文治、
主事兼會計 加藤勤十、中央委員 關東同盟
會 田口龜造、内田藤七、岡野 實
関西同盟會 西尾末廣、塚本重三
平井美入、青柳吾一郎、半谷玉三
全日本鑛夫總聯合會 丁比義雄、石山喜
吉ト夫、鈴木新會長ヨリ一場ノ挨拶